

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル） 【MDASH-Literacy】申請様式の記載要領

※MDASH…Approved Program for Mathematics, Data science, and AI Smart Higher Education

<1. はじめに>

【申請件数】

- 「認定教育プログラム」は大学等毎に1プログラムの申請となります。複数のプログラムの申請はできません。各大学等における数理・データサイエンス・AI教育のリテラシーレベルを実施する中心的な役割を果たすプログラムを申請してください。
- 設置形態（後述<2>（1）③記載）が複数ある場合や通信教育部を設置している場合は、原則として、設置形態毎あるいは通信教育部は別に申請してください。

【申請要件】

- 全学部・学科に開講しているプログラムでなければ申請できません。
- 複数の学部・学科を設置している場合は、2つ以上の学部等の学生が履修している必要があります。また、人文・社会科学分野等の学部等を設置している場合は、人文・社会科学分野等の学部等を含めて、2つ以上の学部等の学生が履修している必要があります。
- 理工系の学部・学科を設置している場合や単科大学等の場合は、2つ以上の専門分野等の学生が履修している必要があります。

【教育内容】

- 申請するプログラムは、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」（2020年4月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム）の「導入」、「基礎」、「心得」の教育内容を参考に、5つの審査項目（様式4の（1）～（5））に対応する内容を全て受講し、修了する仕組みとなっている必要があります。
- 申請するプログラムは、学部・学科の正規の教育課程に位置付けられ、開講している授業科目である必要があります。（大学院の授業科目や公開講座、別科、専攻科、寄付講座の授業科目は申請できません。）
- プログラムを構成する授業の単位数について、定めはありません。

【申請様式】

- 申請様式の内容を参考に申請フォームより申請してください。（申請受付については別途お知らせします。）
- 申請様式は、原則として、各様式の行の追加・削除やセルの設定等を変更しないでください。変更が必要な場合は文部科学省高等教育局専門教育課情報教育推進係まで連絡してください。
- 記載例を参考に、申請書類を作成してください。また、指定の字数がある場合はその字数に従って記載してください。

【提出書類】

- すべての申請様式及び参考資料について、電子媒体で提出してください。（申請受付については別途お知らせします。）
- 「認定教育プログラム」と「認定教育プログラム+（プラス）」の両方を申請する場合は、様式1から様式7までを、「認定教育プログラム」のみ申請する場合は、様式1から様式6までを申請してください。
- 「認定教育プログラム+（プラス）」のみの申請はできません。
- 申請様式のほか、参考資料として、以下①～④を提出してください。
 - ①令和2年度のシラバス等（申請するプログラムにおいて、構成する授業科目の内容がわかる資料、PDF形式）
 - ②令和2年度のカリキュラムマップ等（全学部・学科において、構成している授業科目が設置されていることがわかる資料、PDF形式）
 - ③取組概要（PowerPoint形式1ページ）
 - ④その他補足資料（PowerPoint形式2ページ以内）

※③取組概要、④その他補足資料については、申請様式一式として、認定又は選定の際に公表します。

【シラバス等】

- シラバス等について「①学修目標」、「②授業の方法」、「③授業内容」、「④年間の授業計画」、「⑤単位数」、「⑥担当教員」、「⑦成績評価方法等」が記載されている箇所に黄色のラインマーカーを引き、ラインの冒頭にそれぞれ該当する番号を付してください。

< 2. 各様式 >

(1) 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」への申請について（様式1）

①学校名

- ・提出日現在の学則に記載されている名称を記載してください。

②大学等の設置者

- ・提出日現在の設置者を記載してください。

③設置形態

- ・「国立大学」、「公立大学」、「私立大学」、「短期大学」、「高等専門学校」、「その他」から、プルダウンで選択してください。

④所在地

- ・提出日現在の本部の所在地を記載してください。

- ⑤申請するプログラム又は授業科目名称
- ・プログラムを認定する名称となります。
- ⑥プログラムの開設年度
- ・履修者等の実績が必要なため、令和2年度後期以前に開講しているプログラムでなければ申請できません。令和2年度以前の年度を記載してください。
- ⑦教員数
- ・教員数（常勤）は学校基本調査（令和2年5月1日現在）の教員数（本務者）の数を記載してください。なお、学部・学科毎に記載する必要はございません。
 - ・教員数（非常勤）も同様に令和2年5月1日現在の数を記載してください。
- ⑧プログラムの授業を教えている教員数
- ・プログラムの授業を教えている教員の数を記載してください。
- ⑨全学部・学科の入学定員
- ・令和2年5月1日現在の入学定員を記載してください。
- ⑩全学部・学科の学生数（学年別）
- ・全学部・学科の学生数（学年別）は学校基本調査（令和2年5月1日現在）の学生数（学年別）を記載してください。
 - ・短期大学の場合は2年次まで記載してください。
 - ・高等専門学校の場合は5年次まで記載してください。専攻科を記載する必要はございません。
- ⑪プログラムの運営責任者
- ・プログラムの運営責任者名とその責任者の役職名を記載してください。
- ⑫プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）
- ・プログラムにおいて、不断の改善を図るための委員会・組織等の名称とその委員会・組織等における責任者名とその責任者の役職名を記載してください。
 - ・プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）設置していることがわかる資料（設置規則等）を送付してください。
- ⑬プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）
- ・プログラムにおいて、適切な視点・項目に基づいた自己点検・評価、外部評価等を定期的に行っている委員会・組織等の責任者名と責任者の役職名を記載してください。
 - ・自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）を設置していることがわかる資料（設置規則等）を送付してください。

⑭申請する認定プログラム

- ・「認定教育プログラム」のみに申請をするか、「認定教育プログラムと認定教育プログラム+（プラス）」に申請をするか、プルダウンで選択してください。

⑮連絡先

- ・申請するプログラムにおける窓口となる者の氏名等、記載してください。（場合によっては、こちらから連絡をさせていただきます。）

(2) プログラムを構成する授業科目について（様式2-〇）

①教育プログラムの修了要件

- ・学部・学科によって、修了要件が相違する場合は「学部・学科によって、修了要件は相違する」を選択し、学部・学科によって修了要件の相違はなく一律の修了要件の場合は、「学部・学科によって、認定要件は相違しない」を選択してください。
- ・「学部・学科によって、修了要件は相違する」を選択した場合、修了要件が異なる毎に様式2を作成してください。（修了要件が同じ場合は分ける必要はありません。）

②具体的な修了要件

- ・具体的な修了要件を記載してください。

③授業科目名称

- ・プログラムを構成する具体的な授業科目を記載してください。
- ・51科目以上ある場合は、申請する前に文部科学省高等教育局専門教育課情報教育推進係まで連絡してください。

(3) プログラムの履修者数等の実績について（様式3）

①学部・学科等名称

- ・大学の場合は学部別、短期大学、高等専門学校は学科別に記載してください。
- ・学部が1学部の場合、学科、課程別に記載してください。
- ・1学部1学科等の場合はその下のコース等別に記載してください。
- ・履修者がいない学部・学科は「0」と入力してください。
- ・学部・学科名称の後に括弧書きで学校基本調査「学科系統分類表」の大分類の名称を記載してください。
- ・複数の学部がある場合、学科毎に記載する必要はありません。
- ・単科大学等の場合（1学部・学科の場合）、学科等別に記載してください。学科等名称の後に括弧書きで学校基本調査「学科系統分類表」の小分類の名称を記載してください。

②収容定員

- ・令和2年5月1日現在の収容定員を記載してください。

③履修者数、修了者数

- ・収容定員に対する履修者数、修了者数を記載してください。
- ・令和2年5月1日現在、大学等に在籍する学生等について、プログラムを受講した年度に人数を計上してください。ただし、再履修者は計上しないでください。（在籍していない者、卒業している者は計上しないでください。）

④履修者数合計、履修率、合計

- ・セルに式が入っているため、直接、数字等をセルに入力しないでください。

(4) プログラムの授業内容・概要について（様式4-0）

①プログラムを構成する授業の内容・概要（数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当）

- ・様式2の枝番号に揃えてください。（枝番号毎に記載してください。）
※学部・学科毎に修了要件が相違する場合、様式2と同様に修了要件が異なる毎に作成してください。
- ・「授業概要」は「授業に含まれている内容・要素」に対応する当該プログラムの授業概要を記載してください。記載にあたっては「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」のキーワード（知識・スキル）を参照してください
- ・「授業科目名称」は「授業に含まれている内容・要素」に対応する授業科目を全て記載してください。
- ・「講義テーマ」は各講義のテーマを記載し、後ろに括弧書きで講義の第何回に実施したかを記載してください。

②プログラムを構成する授業の内容・概要（数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムの「選択」に相当）

- ・「授業科目名称」は「授業に含まれている内容・要素」に対応する授業科目を全て記載してください。

③プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

- ・プログラムの授業内容等を公表しているアドレスを記載してください。
- ・WEBで公表していない場合（紙媒体の場合）、該当する箇所をPDFにして、提出してください。
- ・本項目は枝番号毎に様式を記載する場合であっても同一のアドレスを記載してください。

④プログラムの学修成果（学生等が身に付けられる能力等）

- ・プログラム修了時の学生等が身に付けられる能力等、学修成果を記載してください。

(5) 教育の質、履修者数を向上させるための体制・計画について（様式5）

①プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

- ・プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則を記載してください。

②体制の目的

- ・様式1⑫プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）において、組織又は会議等の目的を記載してください。

③具体的な構成員

- ・様式1⑫プログラムを改善・進化させるための体制（委員会・組織等）を構成する委員の名前、役職・所属等を記載してください。

④履修者数・履修率の向上に向けた計画

- ・令和2年度の履修者数・履修率の実績より高い履修者数・履修率の目標値を具体的に設定し、その目標値を達成するために令和3年度から令和7年度まで（5カ年）の計画を立ててください。

⑤学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

- ・例えば、担当者を配置するなど、学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような各大学等の特色ある体制を記載してください。

⑥できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

- ・例えば、入学後のガイダンスの周知など、できる限り多くの学生が履修できるような各大学等の特色ある具体的な周知方法を記載してください。

⑦できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

- ・例えば、学修サポート、学内外の資源利用やICT環境の活用など、できる限り多くの学生が履修・修得できるような各大学等の特色あるサポート体制を記載してください。

⑧授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

- ・授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける各大学等の特色ある具体的な仕組みを記載してください。

(6) 自己点検・評価について（様式6）

①自己点検・評価体制における意見等

- ・自己点検・評価の視点について、各大学等で設置されている自己点検・評価体制における、自己点検・評価の結果や不断の改善・進化に向けた取組を記載してください。

②自己点検・評価体制における意見等の公表の有無

- ・ウェブサイト等で自己点検・評価の結果や不断の改善・進化に向けた取組について、公開等を行っているか、プルダウンで選択してください。
- ・「有」を選択した場合、公表しているアドレスを記載してください。
- ・「予定」を選択した場合は、6月末までに公表することを前提とし、6月末までに差し替えてください。

(7) 「数理・データサイエンス・AI」（リテラシーレベル）認定教育プログラムプラスへの申請について（様式7）

①授業内容

- ・分かりやすさ、学習意欲が高まる内容、学生の習熟度や専門性を踏まえた学習内容、学生の習熟度や専門性に応じた授業選択など、具体的に記載してください。

②学生の学習支援

- ・学習支援システムの構築、補完的な教育の実施、インターンシップ先での実践やTAとしての指導、学修成果の可視化等の導入など、具体的に記載してください。

③その他の取組

- ・地域連携や産業界との連携、海外の大学等との連携など、具体的に記載してください。